平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年７月30日

上場会社名　株式会社 ユタカ技研　上場取引所　ＪＱ
コード番号　7229　ＵＲＬ　http://www.yutakagiken.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山本　卓志
問合せ先責任者　（役職名）取締役 経理部長　（氏名）黒川　勝弘　（ＴＥＬ）　053-433-4111
四半期報告書提出予定日　平成22年８月６日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	45,474	34.6	3,098	－	3,001	－	1,703	－
22年３月期第１四半期	33,788	△41.4	△344	－	△400	－	△531	－

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第１四半期	114	95	－	－
22年３月期第１四半期	△35	87	－	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第１四半期	91,299	44,829	41.5	2,554	04
22年３月期	95,115	43,667	38.9	2,497	80

（参考）自己資本　23年３月期第１四半期　37,847百万円　22年３月期　37,014百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	－	－	11	00	－	－	19	00	30	00
23年３月期	－	－								
23年３月期（予想）			15	00	－	－	15	00	30	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第２四半期（累計）	87,000	17.3	3,900	365.0	3,800	500.6	2,100	－	141	71
通期	177,000	6.3	7,800	13.7	7,500	13.5	4,000	2.0	269	93

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　－ 社　（社名）　　、除外　　－ 社　（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：有

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	14,820,000株	22年３月期	14,820,000株
②　期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	1,159株	22年３月期	1,096株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	14,818,860株	22年３月期１Ｑ	14,818,904株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、（添付資料）３ページ「１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報　（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国での需要の増加や政府による経済政策の効果等もあり、昨年度後半から、立ち直りの兆しが見え出したものの、為替相場の円高推移や株安進行の影響等で、力強さに欠ける回復に止まりました。

このような環境のなか、当社グループにおいては、全ての地域において顧客からの受注状況が改善され増収となり、その増収効果に加え、前連結会計年度に実施した費用削減施策の寄与、生産体質強化施策の継続の効果もあり、当第１四半期連結累計期間の売上高は、454億７千４百万円（前年同期比34.6%増）、営業利益30億９千８百万円（前年同期は営業損失３億４千４百万円）、経常利益30億１百万円（前年同期は経常損失４億円）、四半期純利益17億３百万円（前年同期は四半期純損失５億３千１百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（日本）

受注状況が大幅に改善され、売上高241億７千２百万円、営業利益10億２千７百万円となりました。

（北米）

他のセグメントに比べ受注改善率は低いものの、売上高128億３千８百万円、営業利益２億３千２百万円となりました。

（アジア）

受注状況が大幅に改善され、売上高47億５千７百万円、営業利益６億６千１百万円となりました。

（中国）

引き続きホンダ四輪車の好調な販売により、売上高62億６千６百万円、営業利益９億１千８百万円となりました。

（その他）

前第１四半期連結累計期間は、イギリスにおいて、在庫調整のための生産休止期間がありましたが、当第１四半期連結累計期間は、イギリスにおいて、正常な生産活動に戻ったことや、ブラジルでの受注増による増収効果があり、売上高22億９千６百万円、営業利益２億円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ38億１千５百万円減少し、912億９千９百万円となりました。

また、負債につきましては、その他流動負債等の増加がありましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ49億７千７百万円減少し、464億７千万円となりました。

純資産は、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ11億６千１百万円増加し、448億２千９百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は96億３千１百万円となり、前連結会計年度末より１億１千６百万円増加いたしました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は40億８千９百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益29億８千９百万円、減価償却費18億９千万円、売上債権の減少額13億２千８百万円等により得られた資金から仕入債務の減少額21億２千９百万円等を差し引いた結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は６億８千８百万円となりました。

これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出12億３千６百万円、定期預金の預入による支出６億６千２百万円等により使用した資金から、定期預金の払戻による収入11億５百万円等を差し引いた結果によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は31億８千２百万円となりました。

これは主に短期借入金純減額及び長期借入金の返済による支出25億６千８百万円、配当金の支払額６億５百万円（内、少数株主への配当金支払額３億２千４百万円含む。）等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、受注の増加が期待できる一方、為替を前回公表時の想定レートより円高方向に見直したこと等のため、平成22年４月27日の決算発表時点の業績予想は変更していません。

なお、為替レートは、第２四半期以降の想定レートを1米ドル90円から85円に変更しております。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,848	11,187
受取手形及び売掛金	20,615	22,278
製品	2,597	2,489
仕掛品	1,956	1,872
原材料及び貯蔵品	8,389	8,832
繰延税金資産	892	832
その他	1,836	2,169
流動資産合計	47,136	49,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,017	23,246
減価償却累計額	△10,365	△10,260
建物及び構築物（純額）	12,651	12,986
機械装置及び運搬具	64,080	65,301
減価償却累計額	△45,424	△45,516
機械装置及び運搬具（純額）	18,655	19,785
工具、器具及び備品	18,848	18,966
減価償却累計額	△17,587	△17,513
工具、器具及び備品（純額）	1,261	1,453
土地	6,779	6,821
リース資産	100	102
減価償却累計額	△38	△31
リース資産（純額）	62	70
建設仮勘定	1,336	1,079
有形固定資産合計	40,747	42,197
無形固定資産	419	423
投資その他の資産		
投資有価証券	94	101
長期貸付金	23	16
長期前払費用	607	613
繰延税金資産	226	211
その他	2,069	1,916
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	2,995	2,833
固定資産合計	44,162	45,453
資産合計	91,299	95,115

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	20,866
短期借入金	7,566	9,041
リース債務	31	31
未払法人税等	1,041	1,412
賞与引当金	897	1,243
製品保証引当金	40	40
その他	4,785	3,474
流動負債合計	32,712	36,110
固定負債		
長期借入金	11,814	13,395
リース債務	46	55
繰延税金負債	411	424
退職給付引当金	936	893
役員退職慰労引当金	227	228
負ののれん	299	326
その他	21	13
固定負債合計	13,757	15,337
負債合計	46,470	51,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	565	565
利益剰余金	41,598	40,176
自己株式	△1	△1
株主資本合計	43,917	42,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
為替換算調整勘定	△6,065	△5,478
評価・換算差額等合計	△6,069	△5,481
少数株主持分	6,981	6,652
純資産合計	44,829	43,667
負債純資産合計	91,299	95,115

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	33,788	45,474
売上原価	31,329	39,308
売上総利益	2,458	6,166
販売費及び一般管理費	2,803	3,068
営業利益又は営業損失（△）	△344	3,098
営業外収益		
受取利息	9	27
負ののれん償却額	27	27
為替差益	33	－
その他	42	62
営業外収益合計	113	116
営業外費用		
支払利息	151	113
為替差損	－	81
その他	18	17
営業外費用合計	169	213
経常利益又は経常損失（△）	△400	3,001
特別利益		
固定資産売却益	12	15
国庫補助金	49	49
特別利益合計	62	64
特別損失		
固定資産廃棄損	1	27
固定資産売却損	0	0
固定資産圧縮損	49	49
特別損失合計	51	77
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△389	2,989
法人税等	94	874
少数株主損益調整前四半期純利益	－	2,114
少数株主利益	47	411
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△531	1,703

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△389	2,989
減価償却費	1,948	1,890
負ののれん償却額	△27	△27
賞与引当金の増減額（△は減少）	△372	△346
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△18	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	17	41
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△117	△1
受取利息及び受取配当金	△9	△27
支払利息	151	113
固定資産廃棄損	1	27
固定資産売却損益（△は益）	△12	△14
国庫補助金等収入	△49	△49
固定資産圧縮損	49	49
売上債権の増減額（△は増加）	△1,935	1,328
たな卸資産の増減額（△は増加）	471	△30
仕入債務の増減額（△は減少）	335	△2,129
その他	△93	1,201
小計	△51	5,015
利息及び配当金の受取額	9	27
利息の支払額	△149	△115
特別退職金の支払額	－	△32
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	148	△804
営業活動によるキャッシュ・フロー	△43	4,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△560	△662
定期預金の払戻による収入	390	1,105
有価証券の償還による収入	100	－
有形固定資産の取得による支出	△1,170	△1,236
有形固定資産の売却による収入	36	75
無形固定資産の取得による支出	－	△12
国庫補助金等による収入	49	49
貸付けによる支出	△0	△6
貸付金の回収による収入	3	－
その他	0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,150	△688

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,523	△1,480
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△8
長期借入れによる収入	2,500	－
長期借入金の返済による支出	△911	△1,088
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△163	△281
少数株主への配当金の支払額	△85	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186	△3,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	308	△102
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,071	116
現金及び現金同等物の期首残高	6,555	9,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,484	9,631

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	自動車部品四輪（百万円）	自動車部品二輪（百万円）	汎用製品組立及び汎用部品（百万円）	その他（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,562	2,032	1,193	－	33,788	－	33,788
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	231	231	(231)	－
計	30,562	2,032	1,193	231	34,020	(231)	33,788
営業利益又は営業損失（△）	△307	△23	△41	16	△355	11	△344

（注）１．事業区分の方法

当社グループの事業区分は、売上高集計区分及び販売先の使用目的を勘案して区分しております。

２．各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品	
自動車部品四輪	排気系部品	エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、排気触媒コンバータ、サイレンサー（マフラー）
	駆動系部品	オートマチック・トランスミッション・トルクコンバータ、デュアルマス・フライホイール
	その他	オイルパン、ドアビーム、ロアーアーム
自動車部品二輪	ブレーキディスク、フロントフェンダー、ブレーキペダル、サイレンサー（マフラー）、ハンドルパイプ、ＡＴＶ用部品	
汎用製品組立及び汎用部品	船外機塗装、超小型４ストロークエンジン、フューエルタンク	
その他	機械、金型・治具、他	

〔所在地別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	日本（百万円）	北米（百万円）	アジア（百万円）	中国（百万円）	その他の地域（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	13,683	11,486	3,092	4,837	687	33,788	－	33,788
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,617	4	214	8	89	2,934	(2,934)	－
計	16,301	11,490	3,307	4,845	777	36,722	(2,934)	33,788
営業利益又は営業損失(△)	△516	△281	184	382	△196	△428	83	△344

（注）１．国または地域は地理的近接度により区分しております。

２．本邦以外の区分に属する国または地域は次のとおりであります。

(1) 北米……米国

(2) アジア……フィリピン国、インドネシア国、タイ国、インド国

(3) 中国……中国

(4) その他の地域…英国、ブラジル国

〔海外売上高〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	北米	アジア	中国	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（百万円）	11,488	3,105	4,830	679	20,103
Ⅱ　連結売上高（百万円）	－	－	－	－	33,788
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.0	9.2	14.3	2.0	59.5

（注）１．国または地域は地理的近接度により区分しております。

２．各区分に属する国または地域は次のとおりであります。

(1) 北米……米国、カナダ国

(2) アジア……フィリピン国、インドネシア国、タイ国、インド国他

(3) 中国……中国

(4) その他の地域…英国、ブラジル国他

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に担当取締役が任命されており、それぞれの取締役が、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」（米国）、「アジア」（フィリピン国、インドネシア国、タイ国、インド国）、「中国」の４つの報告セグメントとしております。日本セグメントでは、「自動車部品四輪」、「自動車部品二輪」、「汎用製品組立及び汎用部品」及び「その他」の製品、北米及びアジアセグメントでは、「自動車部品四輪」、「自動車部品二輪」及び「その他」の製品、中国セグメントでは、「自動車部品四輪」及び「自動車部品二輪」の製品を生産・販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	日本	北米	アジア	中国	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	19,738	12,812	4,467	6,196	43,213	2,261	45,474	－	45,474
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,434	26	290	70	4,821	35	4,857	△4,857	－
計	24,172	12,838	4,757	6,266	48,035	2,296	50,332	△4,857	45,474
セグメント利益	1,027	232	661	918	2,840	200	3,040	57	3,098

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、英国及びブラジル国の現地法人の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額57百万円は、セグメント間取引消去57百万円であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。